

八雲地方合同庁舎整備事業
地域連携懇談会（第8回）議事録

日 時：平成24年11月28日（水） 15:15～17:00

場 所：八雲地方合同庁舎共用会議室

出席者：（順不同・敬称略）

委員

（出席）

佐藤 孝 北海道工業大学建築学科教授
前小屋 忠信 八雲町保健福祉課長
堂七 武之 八雲町身体障害者福祉協会副会長
小岩 伸之 八雲総合病院リハビリテーション室作業療法係長
平野 百合子 八雲運輸商事(株)専務取締役（八雲町都市計画審議会委員）
高橋 克一 八雲税務署総務課長
石岡 浩一 函館地方法務局八雲支局長（代理）
徳山 賢 函館公共職業安定所八雲出張所長

（欠席）

河田 実 八雲町建設課長
深川 功 函館地方法務局会計課長

オブザーバー

（出席）

竹内 伸大 八雲町企画振興課企画係長
長野 泰 八雲町建設課都市計画係長
小笠原 雄二 札幌国税局会計課営繕第一係長
江口 昌秀 函館地方法務局会計課施設係長
（欠席）
萬谷 俊美 八雲町企画振興課長
花田 純 北海道労働局総務部総務課会計第4係国有財産主任

事務局

（出席）

内野井 宗哉 北海道開発局営繕部 部長
山本 英史 北海道開発局営繕部 営繕整備課長
菅崎 栄 北海道開発局営繕部 営繕調整課長
大山 俊則 北海道開発局営繕部 営繕整備課 課長補佐
伊藤 昭浩 北海道開発局営繕部 営繕整備課 営繕監督官
木下 堅吾 北海道開発局営繕部 営繕整備課 係長
長尾 和彰 北海道開発局営繕部 営繕整備課 開発専門職
山田 容路 北海道開発局営繕部 営繕整備課 電気設備設計審査係長
齊藤 英生 北海道開発局営繕部 営繕整備課 機械設備設計審査係長

1. 開会

(司会)

これより八雲地方合同庁舎整備事業地域連携懇談会第8回を開催いたします。懇談会の冒頭、北海道開発局営繕部長内野井よりご挨拶を申し上げます。

2. 挨拶

(営繕部長)

本日は、お忙しい中、八雲地方合同庁舎整備事業地域連携懇談会のためにお集まり頂きまして、誠にありがとうございます。

今回は2年近く開いての開催となります。一番最初からご参加いただいている方ですと3年弱となります。その間、委員の皆様方からは大変貴重なご意見をいただきありがとうございました。

また、佐藤先生におかれましては、座長ということでお忙しい中大変なご苦勞をされたのではないかと思います。ありがとうございました。

本日、この第8回目は最後ということになる訳ですけれども、私ども、庁舎の完成後に全体で7回開催しております。実際に建物を使っていただいて、その間、ユニバーサル診断を行いました。それはどういうものかという、色んなハンディをお持ちの方や子供連れの方、ご高齢の方に使っていただいて、使い勝手はどうかなど色んなご意見をお聞きしています。

また、今年に入りまして、顧客満足度調査というものを行っております。これは、実際に庁舎に来庁される方、あるいはこちらで執務されている方が、この建物の使い勝手はどうだったかについて問うております。これらについては、のちほど事務局より説明させていただきたいと思っております。

それらを参考にさせていただきながら、実際に建物が出来た結果について、当初こういう風にしていこうという話しを色々させていただいている訳ですが、初期の目標や目的が達成出来ているかをご意見、ご感想を含めてお聞かせいただきたいというのが、本日の主旨であります。

私ども北海道開発局では、このような合同庁舎や、参加していただいております税務署さん、法務局さん、ハローワークさんなどの色々な建物を整備しておりますけれども、今後、整備の中に反映していきたいと思っております。

忌憚のないご意見をお出しいただければ非常に幸いと思っておりますので、限られた時間ではありますが、活発なご議論、ご意見をいただけることを祈念いたしまして、簡単ではありますが、開催にあたりましての挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。

(事務局より)

資料の確認

自己紹介

3. 議事

(司会)

続きまして、議事次第3. 議事に入ります。(1) 懇談会設置要領に基づく検討項目の評価について事務局のほうからパワーポイントにて説明があります。

((1) 懇談会設置要領に基づく検討項目の評価についての説明)

((2) 庁舎視察(外部、内部共用部))

会議室に戻り

(司会)

寒い中お疲れ様でした。それでは、議事次第3. 議事の(3)意見交換に入ります。

ここで懇談会設置要領に基づく検討項目の評価ということでございまして、佐藤先生に司会の進行をお願いしたいと思いますが、委員の皆さんよろしいでしょうか。

それではよろしく申し上げます。

(3) 意見交換

(座長)

時間としては17時ですか。あまり時間も無いですが、今、外を見て来ましてまた、スライドでのシビックコアの話から、ハンディーキャップのユニバーサルデザインに関して進めて参りたいと思います。

今日は大きく言うと、一般ユーザー的な立場でもって、あるいはユニバーサル施設についての委員の話と、実際入居されて使ってらっしゃる立場のユーザーの方、大きく二つの皆さんと一緒に、そういう中で今日は冒頭に説明のありましたように、検討項目として「景観形成」に関する事、それから「室外の中での空間」に関する事、これが一つ。もう一つは、「ユニバーサルデザイン」そのものに関する事。この大きく二つの点が、ユニバーサルの検討項目であったと思います。

それを全部含めまして、委員の皆様の方からお話を広げようという問いでお話があったり、ひとつの立場で改めて見ていく中での感想であったりを堂七さんの方から皮切りでお話を進めていきたいと思っています。

(委員)

先ほど説明を受けまして、確かに合同庁舎の良くなった面、それから、今、実際に外に出て見た感じ、それから思ったことの中で、まだ一冬越ただけでこの庁舎にあまり来ることもなく、自分で気になって今までこの懇談会の中で意見を出したことに對して、実際に見ながら話もちよっとしたんですけど、実際に僕ら身体障害者協会は、車いすや肢体不自由関係の人がほとんどで、実際に役員の人に来てもらって作る時からの意見を聞いてもらったり出来れば、こういう方法とかもあったんですけど、僕たちが特に関心があったのはトイレ関係で、車いすの人たちが八雲にこういう広い設備が出来たことに感心している。

確かに車いすの人たちは、一回トイレに入ると15～20分とかかるので、町内にもそういったトイレ関係もたくさんあるんですが、なかには、あちこち探したりすることもあると聞いてなるほどと思ったこともある。

話は変わりますが、今年2月の確定申告に来た時に、歩くところがロードヒーティングになっているんですけど、場所によっては滑るということが、私ではないのですがあったんです。冬場の出入口なんですが、その人も普通に歩いているんですが、滑らないようになっていけばいいのと言っていました。

また、正面側の道路からの景観はとても良いんですが、建物裏側のほうは看板が古くなっていたり、樹木の枝が折れて道路に落ちている等の話を通行した人より聞いたことがあるという意見もありました。

以上の3点です。

(委員)

(レーダーチャートを見て) 一般の人と肢体障害者の比較が面白かったんですけど、これを重ね合わせたらほとんど面積が同じで、これが一番ユニバーサルなんだなあと思いました。つまり誰が使っても同じ調査結果になったんです。ということは良い建物なんだと思います。

もう一つは(設問項目の単純集計を見て)、施設周辺の発展向上に関してなんですけど、例えば、この施設が経済に寄与するかコミュニティに寄与するかということなのかなと思うんですけど、経済に寄与するかはこの周りに商店街が有るわけでもないですし、コミュニティに関しては、札幌のエルプラザの様に町内のサークルがレンタルスペースとして借りられる場所でもないですし、ここは青丸でも別に施設の特性としては全く問題無いんじゃないかと捉えています。庁舎そのものの評価には影響しないところじゃないかと思えます。

あと、地域のシンボルになるかってところは、それこそ都市部の中であの建物の裏に何かがあるよとかいう場所でも無いので、そんなランドマーク的な使われ方もされないんで、ここもそんなに問題ないんじゃないかなって思いました。

あと、委員の方からも出てた、乳牛の碑がちゃんと大事にされてたりとか、ハローワークさんの看板に併記して正解だったりとか、一般住民からの目、視点を取り入れて作られるのっていうのはすごく良いことなんだなあと勉強になりました。

あと、僕自身も一般の家屋改修とかユニバーサルデザインに関わることがあるんですが、官庁とか病院でも予算で必要最低限のスペックに納まることが多いです。ハートビル法の最低限。予算に関しては分かりませんが、十分みせてもらえたのは医療者として大変勉強になりました。ありがとうございました。

(座長)

今、お話のありましたレーザーチャートを重ね合わせていくとなかなか良いものじゃないかというこういう見方に、私も非常に小岩さんの視点の凄さを勉強になった感じがいたします。

(委員)

今回初めてで、今までの経緯をあまり勉強してこなかったんですけども、写真で春夏のすでに使っている瞬間、デザインを見てこういうふうな形で見えると景観的にはすごいんだと。ただ、冬の時点になると景観と言ってもどうかかと、こっちの建物と隣の図書館なんですけども、景観的に良いとか悪いとかと感じではないなと思います。夜になってこんな形で見えればそれはそれで良いんでしょうけど、隣の図書館は夜になると電気が消えちゃう。ここは、冬の時点ではどうかなって気がしています。たぶん夏の時点では最初のスライドの写真の様な感じで、図書館と今のこの感じと、また公園を整備していくんでしょうけども、そういう感じになると憩いの場という形になっていくのかなと。用事があってハローワークさんなり国税さんに来て、そこでちょっと終わったら休んだり順番を待って休んだり、あとは公園に行ったりして、景観的には雪が無い時期は良いのかなという気がしています。

色とかデザインに関しては、奇抜とういか雪の無い時期には合っているという良い意見が出て、良い建物なんだなと思いました。

歩きながら外の方を見てもらって話しもありましたけども、冬場は車いす用の駐車場もあって、停めるスペースも広くて滑らないようにロードヒーティングになっていて、そのまま入っていけるというのもあって色々良かったんじゃないかと思います。

ただ、先ほど見ながら行きました授乳室については、あのままで使うとなるとたぶん妊婦さん方やお子さんがいる方は使いにくいというか使わないんじゃないかと思います。授乳室は密閉された空間だろうし、お子さんを抱いてこの空間に入って荷物をどこに置くとなって、あの感じではなかなか使いにくいというか、椅子にお母さんが座った段階で子供はどういう形になるのかなって、角に頭をぶつけちゃうんじゃないかと。思ったのは、ここに置くとなると小さいテーブルはなかなか難しいんじゃないかなと思います。あの部分については、もうちょっと工夫すればあまりお金がかからないように変えられる可能性が有るかなと。僕らも役所なので、出来てしまったものを動かすのはなかなかゆるくないだろうとは思いますが、たぶんこのままでは使われない場所になってしまう気がします。

あとは全般的な、堂七さんが言ったようにトイレについてはかなり配慮されて作られている。僕らの方のシルバーの人たちですけどもそこまでまだなってないし、本来的には僕らの施設もあそこまではやらなきゃいけないんでしょうけども、もうだいぶ前に建った施設なんであそこまで改良出来なかっただろうと僕は思ってますけれども。今後、何かあればこういうのを参考にして考えたいなと思っています。

(委員)

今、ふと思ったんですが、21年からずっと参加させていただいて、私たちも色々人と人が変わったりしながら、堂七さんと小岩さんと私と先生というのがずっと来たなと思いつつも、ただこの合同庁舎の建設に関わらせていただいたことにまず感謝させていただきます。ありがとうございます。

昨年からハローワークさんに来たり、法務局さんに来たりということで、入りながら車を駐車場に停めて利用者という立場で来て感じたことは、まず一つには、冬のあいだに入口のところはどうもあそこに雪が吹き込んで雪庇が出来ちゃうんですね。そうするとどうしても下の入口のところが滑るんです。長靴を履いて来るんです

けれども、雪と氷が一緒になっちゃってボコボコのところは良いんですけども、そのあとのところが雪が付いて氷が多たって感じました。

(座長)

今のはどの部分ですか。

(委員)

入口の外側ですね。玄関のちょうど自動ドアの手前のところ。どうも凍っちゃうんですね。結構雨だとかでしばれちゃっていると、ブラックアイスバーンじゃないですけど、雨だれが当たって夜しばれる。雪があっても融けちゃう。やっぱり危険性があるのかなって。それは使ってらっしゃる庁舎の方たちの方が分かると思うんですけど、私たちが入ってくると危ないなって、ちょっと油断出来ないなって思うことがありました。

もう一つは、授乳のところの問題点は先ほどお話しがありましたのでいいんですけど、ただ2階の女性トイレのところが入っていくのに右に入って左に行って右側なんですね、そここのところでガイドしていただければ、矢印でもいいから書いていただければきっと女性の方が入るのに奥まで入るので入りづらいのかなと。下の方に行っていたほうがいいかなって思うのかなって感じました。

でも全体的にこのCS調査の顧客満足度を見ても、本当に素晴らしく使い勝手の良いトイレだけじゃなく、全体的に官庁の建物としては素晴らしく立派に使う方のことを考えて出来ている建物だと思います。ですから関わらせていただきながらこんな立派なもの出来るんだなっていうのを改めて今日は感じた次第でした。

長い間ありがとうございました。

(委員)

さっき気付いたんですが、玄関ホールがあれだけ吹き抜けになってるのに共鳴が少ないですね。吸音板を使ってるんでしょうけど、だからうるさくなくてすごく良かったなって思っています。

(委員)

反響もしないですね。

(委員)

出来上がってから2年…

(座長)

一番最初に入られましたよね。

(委員)

はい。いわゆる管理官署になってございまして、税務署の方がここの維持管理を中心にこなってございましてですね。正直この地域連携懇談会に出た検討が随所で反

映して、開発局さんの色んな意見も結集された庁舎なのかなと思います。

私も実はこの庁舎に来る前は旭川の合同庁舎に勤務しておりました。あそこも素晴らしい庁舎なんですけども、ここも小さいながらも非常に色んなところに配慮されているんだなあと感じた次第でございます。

私としましては、立場上ここを維持管理していかなきゃいけない立場なものですから、色んな話もありましたし雪庇の話もございました。我々も気付いてますので、極力、来庁者に維持管理上ご迷惑をかけないように、せつかくこういういい庁舎が出来ましたので、維持管理…予算の範囲内としか言えないんですけども、地域に根差したというものを取り入れながら行っていきたいなと思います。ありがとうございます。

(委員)

私どもも、庁舎というのはだいたい出来たところに入って使わせてもらうのが大半でございまして、なかなか利用者側の方の目線というのは見えないものもございまして、今、2年ほど経ちましてかなり外も使いやすいということは感じております。

細かいCS調査の検討もありますけども、気付いている事もいくつかはあるんですが、使用者として非常に使いやすい庁舎だなと思います。

どうしても業務内容で利用させていただく関係がございまして、地域的なことで場所的なことですが、配置が私どもとしては使いづらい部分もございまして、これは私どもの業務内容的なものでございまして、別な方法でソフト面を改良していく必要があるのかなと思います。

庁舎的には問題無いかと思っております。

(委員)

去年の4月に転勤して参りました。全道10数カ所歩いておりますけれどもかなり立派な庁舎だと思っております。うちの方の職員でハローワークの職員が来た時に、ここに勤務したいと声を聞きます。

ただ入っている者として気付いた点をお話しさせていただきたいと思っております。ハローワークでは求職者の方がいらっしゃいますけれども、求人情報一覧というものを外の掲示板のところへございまして。掲示板のところなんですが、先ほど雪解け水のことが言われてましたが、雪解けの水だけではなく雨が降った時も雨だれが見ている方に当たるような位置になります。去年の4月に赴任してきた訳ですけど、機会があるごとにお話しさせていただいております。また、CS調査の時も記入させていただきましたけれども、雨だれが当たるというのは、私個人とすれば設計のミスではないかと思っておりますので、今後よろしくお願ひしたい。

あと一点なんですけども、図書館との間に止まれが表示が二つございまして。白地に赤で止まれとあるんですけど、去年の冬なんですけど、ハローワークに来られたお客さんではないのですが、たまたまうちが一階にあるものですから、車をバックでぶつけてしまったというケースが二回ありました。たぶんバックで入る時に赤のところは死角になって見えなくて雪の白とサインの白と同化して分からなくてぶつけちゃったということです。

今後の設計に生かしていただけたらと思います。

(座長)

色々を使っていく中でのお話でしたけれども、リアルな問題に気付いたと思います。こういうのはまた、こういう形で出来て次に展開出来れば良いと思います。

私の感想で言いますと、この合同庁舎を全体的に見まして、非常にきめ細やかな施設が出来たと思います。大きなところでは広場の話もありましたけれども、皆さんと話したユニバーサルデザインに関すること。本当に百点満点完璧なくらい、それぞれ全国の日本建築学会のユニバーサルデザインのモデルで、ここから設計資料集成を作り出してもいいんじゃないかと思うくらい見本になるようなものが出来たと思います。

というのも住宅を考えると、旦那さんが居て奥さんが居て子供が居て、おじいちゃんおばあちゃんが居てという中において、台所一つにとっても奥さんの身長を測りながらシンクの高さを決めていったり、上の方の吊戸が頭にぶつからないように決めていったり、住宅ですと当たり前になりますが。

ところが大きな施設になりますと、お母さんの役割、おばあちゃんの役割、子供の役割の方が居ないもんですから、つつい一般論的なところでもって埋めてしまう。であるから公共施設、或いは民間にしても大きな施設にしても、使い手不在の状態の問題が実は大きな施設の場合は出て来る。公共建築に関わらずです。

でも住宅ですと使う人がはっきりしている。そのあたりが今回の地域連携懇談会で家族のような感じで、それぞれの視点でもって話し合うというところがあったんで、こんな細やかな設計に生かしていける施設になった訳です。平野さん、小岩さん、堂七さんが家族の役割を担ってくれていた感じがいたします。

もっと入居される法務局をはじめとして、早いうちにこういうものが必要だというシミュレーションが早くに出来れば、もっと見えてきた部分もあったかと思います。

いずれにせよ、そういう面ではきめ細やかになっていく地域連携懇談会をやり続けて来たことが全てに反映されてきたような感じがいたします。

大きなところで申しますと、久しぶりに駅の方からぐるっと回って歩いて来ました。その時にこの建物の公園側の方に壁を見て、或いは入口を見て、色合いを見て先ほど平野さんから建物周りを見ていい建具が入ったねって話もしてましたけども、正面が道路側ではなく公園側を向いているというのがあの時に議論があったと思います。図書館側の方のどちらかというところを向いて、この間の空間が大事にされている、これから整備も始まると思いますけれども、非常に大事にされている。

入居されている方々がこういう合同庁舎っていうのは珍しいと思うのは、夏とか春とかその四季を、冬は色々問題も出始めているかもしれませんが、春であるとか夏であるとか素晴らしい公園のようなところを歩きながらこちらの方の大きな入口に入って行く。しかも上の方に銀色のアルミニウムが壁になっていて、上の方から光りが入ってくると輝くようなエントランスではないかと思います。それを目指して公園を歩きながらということで、小岩さんも日常的にこの公園を歩きながら病院の方に行かれているという話を一番最初の頃にお話されていましたが、そういうような役所ってところは全国的にも珍しいと思いますし、それがここの良さではないかと。そういう面においてもこの景観的なところで大きな位置付けを内側に向けようねってことが、みんなでもって話をしながら出来たんじゃないかと思います。

小岩さんの話の中で経済に寄与とありましたが、そのあたりを言われましたら公園性という位置付けであるということは、これは豊かさの一つを獲得出来たことだと思うんです。そんなような大きなお話もありました。

ユニバーサルデザインに関しては委員の方でおっしゃってますので私の方は二つになります。最初に話をしたその地域連携懇談会のメンバーから家族としての意見を伝えてくれました。そんな公共施設が出来たということは誇りに思うことかなと思います。

最終の地域連携懇談会での検討項目について、概ね評価出来たと思います。

時間もまいりました。非常に素晴らしかったと思います。委員の方どうもありがとうございました。

(司会)

佐藤先生ありがとうございました。

(4) その他

(司会)

続きまして、議事次第3.(4)その他に入ります。本来であれば、次回の懇談会の内容を話し合うのですが、今回で最後となりますので特段無いと思っております。なお、何か意見等ございましたらお願いします。

4. 閉会

(司会)

閉会にあたりまして、北海道開発局営繕部営繕整備課長山本よりご挨拶を申し上げます。

(営繕整備課長)

八雲地方合同庁舎整備事業地域連携懇談会におかれましては、約4年間八雲地方合同庁舎の整備にあたり、色々と熱心なご意見をいただきましてありがとうございました。

今日、現地を見ていただき、色々なご意見、ご評価をいただきましたけれども、私どもにとって、本当に反省すべき点をいくつかいただきました。

全体としましては、最後に座長からもお言葉をいただきましたが、地域連携懇談会の意見を踏まえた対応がなされたことで、非常に良い評価をしていただいたと思っております。

とくに、ユニバーサルデザインについては、大いに評価をしていただきました。今後、私どもも色々な庁舎を整備して参りますが、座長に言われました、ユニバーサルデザインのモデルになるような庁舎だという話をいただきましたが、こういうことを考えろよというところを抛り所にしまして、もっともっとステップアップしながら、いい庁舎を作っていきたいと思っております。

また、授乳室や外部の掲示板等では、私どもとして、考えが及ばなかったようなところも反省点としてございますので、今後、色々と考えて良い方向に進めていきたいと思っております。

今後、この庁舎が利用される方にとって使いやすいもの、親しみやすいもの、さらには、八雲町さんのまちづくりに寄与していければいいなと思っております。

最後に、熱心にご議論いただきました委員の皆様に、また、この会の座長として引っ張っていただきました佐藤先生に厚く御礼を申し上げまして、閉会のご挨拶とさせていただきます。

本日は、本当にありがとうございました。